

さがらとうきゅう
11月19日は須賀川俳祖・相楽等躬の命日です



等躬の庭



長松院



可伸庵跡



受け継ぎ伝う

芭蕉の古くからの友であった相楽等躬のありし日を想う「等躬忌の集い」を開催しています。

桔槔吟社

須賀川史談会

須賀川知る古会

須賀川ふるさとガイドの会

NPO法人チャチャチャ21

本町町内会 (五十首順)

協力

風流のはじめ館

第7号

令和3年11月号

各地に広い人脈を持ち、多くの風流を親しむ人をもてなした等躬は一七一年に七十八歳で亡くなりました。

相楽等躬

11/19(金)小春日和のなか関係者15名で等躬ゆかりの場所や庭園をお清めし、菩提寺である長松院にお参りました。



等躬忌をよむ

須賀川の季語を豊かに等躬忌屋敷跡の巨木陽に映ゆ等躬忌井戸水を使ふ音する等躬忌吊り花の枝先ゆれて等躬忌街に立つウルトラ怪獣等躬忌愛宕山落栗光る等躬忌等躬忌君在ればこそ俳句道一門の句座に日のさす等躬忌等躬忌俳人だけが知つてゐるわが町の俳諧今に等躬忌旅人の居心地のよき等躬忌等躬忌古き駅舎の磨りガラス駅をさの生家の大樹等躬忌等躬忌着物姿の坐像待つ

展示品の紹介



卷子芭蕉曾良等躬三子三筆詩箋より

等躬詩文 (須賀川市蔵)

「桔槔吟社紀の会様」により「等躬忌」をよんだ作品を紹介いたします。

連句

れんく

一人が五七五の発句をよみ、次の人が七七、また別の人が五七五、七七：と想像を広げ、交互により合い、一句ごとに世界がずれていく感覚を楽しみながら、一つの作品を作る文化がありました。

11/26(金) 開催

「はじめての連句」

芭蕉は須賀川で等躬をはじめ、土地の人にもてなしを受け、俳諧興行を重ねました。当時は思い起こし、たのしく半歌仙を巻きます。

芭蕉たちと話をしていると、「浅香沼は、ここからのぐらいの距離か」と聞かれました。「浅香山は日和田宿を越えて一里塚の近くにありますが。浅香沼は何でもない田のみぞなどを今は呼んでいたのでしょうか。藤中将の花かつみの故事も、花かつみは何であるかも、もう知る人は居なくなりました」と答えました。

茨やうをまた習ひけりかつみ草 等躬

藤中将に教えられて、かつみ草でさし飾すという新しいことをまたひとつ知りました。



当館の諸室は
さまざまな使い
方ができます。



フォトウェディング
撮影会が
開かれました

和室や庭での 記念撮影

コロナ禍で多くの
人が集まる披露宴
が難しい中で思い
出を残すため、当館
や翠ヶ丘公園で撮
影が行われました。
幸せな新郎新婦の
姿をみた来館者か
らはお祝いの拍手
とため息で会場は
より祝福ムードに
包まれていました。

風流のはじめ館 開館一周年 記念イベント



おかげさまで、
十月九日(土)
開館一周年を
迎えました。



秋季のできごと



第一回「すかがわ風流和傘アート(まちづ
くり推進協議会・本町商店会主催)」が
開催されました。

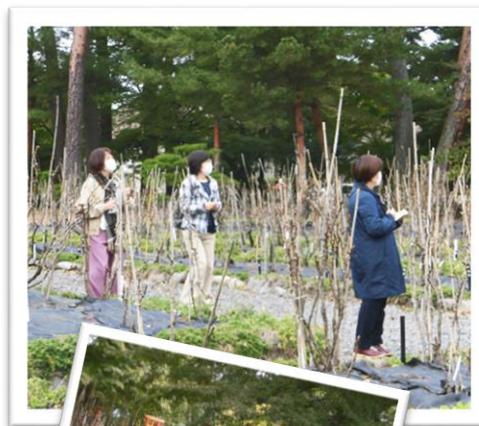
風流和傘 アート



すかがわ大人塾

10月

第二回 てくてく俳句



10/11
10/25

講師 江藤文子先生
(桔槌吟社同人会長)

はじめ館の周辺を
散策したり
牡丹園内を吟行したり
あることから
非可こ見(なま)んど。

すかがわ大人塾
(和ごと)を学び、
日常を愉しむ大人の
ための教室です。

言の葉

風花 かざばな

初雪の便りが届くころ
風下の地域では、
風に運ばれてきた
雪のかけらが、ちらちらと
舞うことがあります。



小雪 しょうせつ

寒さがすすみ、
そろそろ
雪が降り始める
ころです。

朔風葉を払う さくふうは はらう

十一月二十七日ごろ
十一月二日ごろ
冷たい北風が
木の葉を散らすころです。

俳句募集

募集期間 通年
選句会 年2回(8月 2月)
部 門 一般の部・子どもの部
学校の部

ホームページを
開設しています。
施設の紹介をはじめ、
企画展や講座、イベント
情報などを発信しています。
<https://s-furyu.jp/>